

【担当教員】

永野 建二郎

【教員室または連絡先】

機械・建設1号棟3階306 Tel 0258-47-9808

Email:knaga@vos.nagaokaut.ac.jp

【授業目的及び達成目標】

日本語の初級が終わった人に対して、中級レベルの授業をします。
初級で勉強した文法や言葉が上手に使えるようになることをめざします。

【授業キーワード】

Pre-intermediate Japanese, Reading comprehension, Grammar, Speaking, Composition

【授業内容及び授業方法】

教科書を使って、読解、文法、会話、作文を勉強します。

【授業項目】

第1週 ガイダンス、自己紹介シート作成、発表

第2週、第3週 ファストフード

第4週、第5週 地震

第6週、第7週 最近の子ども

第8週、第9週 インターネットの利用

第10週、第11週 睡眠

第12週、第13週 日本人の発明

第14週、第15週 リサイクルとフリーマーケット、まとめ

【教科書】

『中級へ行こう』スリーエーネットワーク 2,310円

【成績の評価方法と評価項目】

宿題、出席など 30% 期末試験 70%

【留意事項】

教科書は必ず買ってください。

【担当教員】

加納 満

【教員室または連絡先】

物質・材料 経営情報1号棟3階、(内)9802
3rd Floor, Management & Information Systems Science Building, ext.9802

【授業目的及び達成目標】

初級修了者を対象に中級入門レベルの総合的な日本語能力の養成を図る。

【授業キーワード】

話す力、聴く力、語彙力、話しことば、書きことば

【授業内容及び授業方法】

- ・毎回担当者を決めて原稿を準備し発表する。
- ・発表課題は自国紹介または日本との比較に関するもの。
- ・発表の際、間違いに応じて発音、語彙、文法、文章構成について指導する。
- ・発表後、発表内容について出席者と質疑応答する。
- ・指摘された間違いを修正して、原稿を提出する。

【授業項目】

第1週 ガイダンス、自己紹介
第2週～15週 発表(自国紹介、日本との比較)

【参考書】

なし。

【成績の評価方法と評価項目】

口頭発表と提出物により評価する。

【留意事項】

日本語初級修了者を対象とする。

【担当教員】

柴崎 秀子

【教員室または連絡先】

物質・材料 経営情報棟309
TEL 0258-47-9856

【授業目的及び達成目標】

日本語による講義の理解及びゼミ、学会等における日本語の発表に必要な文法項目を勉強する。日本能力試験2級合格のレベルに達することを目的とする。

【授業キーワード】

日本語中上級レベル

【授業内容及び授業方法】

毎回、漢字と語彙に関する宿題が出る。
宿題の確認後、教科書を使って読解と文法を行う。

【授業項目】

1. 漢字の読み・書き
2. 語彙の積み上げ
3. 基本的な説明的文章の理解

【教科書】

完全マスター「日本語能力試験文法問題対策2級」(スリーエーネットワーク) (必ず購入すること。)

【参考書】

授業の中で指定する。

【成績の評価方法と評価項目】

出席、宿題提出状況。レポート提出。

【留意事項】

日本語特論2を履修する者は、同時に日本語特論1を履修することはできない。
出席を重視するので、欠席、遅刻、早退は減点の対象となる。

【参照ホームページアドレス】

http://
なし

【担当教員】

加納 満

【教員室または連絡先】

物質・材料 経営情報1号棟3階305

【授業目的及び達成目標】

日本語の話し言葉は相手との関係や場面によって選択される表現が変わる。このような特徴を授業を通じて学ぶ。

【授業キーワード】

話し言葉、場面、人間関係

【授業内容及び授業方法】

教科書に沿って、場面や人間関係に注意を払い、クラス活動を通じて日本語の話し言葉の習得を行う。

【授業項目】

1. 話し言葉の語彙、音声変化、文法
2. 丁寧さのレベルと話し言葉
3. 省略と話し言葉
4. 間接表現と話し言葉

【教科書】

『聞いて覚える話し方日本語生中継 初中級編2』くろしお出版

【成績の評価方法と評価項目】

課題提出物に基づいて評価する。

【留意事項】

この科目を履修する者は日本語特論1を履修できない。

【担当教員】

柴崎 秀子

【教員室または連絡先】

物質・材料 経営情報棟309
TEL 0258-47-9856

【授業目的及び達成目標】

自然な日本語による作文力と口頭発表力を養成する。

【授業キーワード】

中上級、読解、漢字、文法、語彙

【授業内容及び授業方法】

毎回、多量の宿題あり。特別な理由がない限り、15分以上遅刻した場合、出席を認めない。

【授業項目】

1. 宿題の提出
2. 小テスト
3. レポート提出

【教科書】

「留学生のためのここが大切文章表現のルール」スリーエーネットワーク 1600円。(著作権法上、コピーは許可されない。同じような名まえの教科書があるので注意)

【成績の評価方法と評価項目】

宿題, 出席率, 小テストの成績で評価する

【留意事項】

この科目を履修する者は日本語特論1, 2を履修することはできない。

【担当教員】

リー飯塚 尚子

【教員室または連絡先】

物質・材料 経営情報棟306 0258-47-9853

Email:naocoi@vos.nagaokaut.ac.jp

【授業目的及び達成目標】

視聴覚教材を通して、聴解能力を高め、語彙・表現の拡充を目指すとともに、感想、意見を述べる口頭表現能力および文章表現能力を身につけることを目的とする。また同時に、1)日本人の言語行動と日本社会、2)日本の技術、経済発展を支えてきたエンジニアの仕事についてディスカッション(内容によってはディベート)をしながら理解を深めていきたい。なお、使用教材は1話完結型の20分程度のものを使用予定。

【授業キーワード】

聴解能力、語彙・表現の拡充、ディスカッション、ディベート、日本人の言語行動、エンジニアの精神

【授業内容及び授業方法】

視聴覚教材は2つのタイプを予定しており、前半、後半に分けてそれぞれ視聴していく。

タイプA:ドラマ

1回の授業で1話分を視聴する。具体的な授業の流れは次のようになる。

1. 前回分のドラマに関する小テストを行う(主に、語彙、表現に関するテスト)
2. ドラマの視聴1回目。内容確認のためのプリントを配付
3. ドラマに関するディスカッション
4. ドラマの視聴2回目
5. 2.で配付したプリントの答え合わせ

タイプB:ドキュメンタリー

1回の授業で1話分を視聴する。具体的な授業の流れは次のようになる。

1. 前回分のドキュメンタリーに関する小テストを行う(主に、語彙、表現に関するテスト)
2. ドキュメンタリーの視聴1回目。内容確認のためのプリントを配付
3. ドキュメンタリーに関するディスカッション/ディベート

【授業項目】

- 1回目 授業計画について。イントロダクション(ドラマ1話分、ドキュメンタリー1話分を視聴)
2-8回目 ドラマ視聴(1回1話、全7話分を予定)
9-15回目 ドキュメンタリー視聴(1回1話、全7話分を予定)

【教科書】

授業時に資料を配付する。

【参考書】

なし。

【成績の評価方法と評価項目】

- 小テスト(毎回実施) 20%
宿題 30%
期末試験(レポート) 50%
期末試験の内容に関しては、授業内で説明する。

【留意事項】

1. この科目を履修する者は日本語特論1、2を同時に履修できない。
2. 9回目以降は毎回宿題を課す。

【担当教員】

リー飯塚 尚子

【教員室または連絡先】

物質・材料 経営情報棟306 0258-47-9853

Email:naocoi@vos.nagaokaut.ac.jp

【授業目的及び達成目標】

上級話者としての口頭表現能力、およびコミュニケーション能力を養うことを目的とする。日常生活、および研究生生活において、自分の意思を上手に伝える能力は欠かせないものである。このクラスでは、どんな話し方をすれば相手に自分の意図が伝わるのか、あるいは伝わらない時の問題点は何かといったことを、自分の会話の分析、および相互ディスカッションを通して考えていきたい。その際、語彙や表現のみならず、発音、イントネーションにも注目したい。これまでの自分のコミュニケーション方法を振り返りつつ、よりよい人間関係を築くためのコミュニケーションストラテジーを考えていきたい。

【授業キーワード】

口頭表現能力、コミュニケーションストラテジー、人間関係、発音、イントネーション

【授業内容及び授業方法】

出席を重視するとともに、授業への積極的な参加を求める。なお、進度については受講生の人数、レベルによって変わることもあるが、原則として2週で1つの題材を扱う。実際にペアあるいは単独で会話をし、それを録音したものを再生しながら、自己分析、および相互分析を行う。題材は下記参照のこと。

【授業項目】

- 第1回 授業計画について。イントロダクション
- 第2-3回 好印象を与える自己紹介をする
- 第4-5回 物事を始めたきっかけについて話す
- 第6-7回 好きな映画や本を人に紹介する
- 第8-9回 日本の子どもたちに母国の行事を紹介する
- 第10-11回 困った状況を伝えて交渉する
- 第12-13回 不満に対処する
- 第14-15回 目上の人に注意を促す

【教科書】

『日本語超級話者へのかけはし』スリーエーネットワーク 2310円

他の教材は授業時に配付する。

【成績の評価方法と評価項目】

各課ごと的小テスト(口頭発表) 50%

試験(口頭発表) 50%

ントについては、授業内で説明する。

期末
評価のポイ

【留意事項】

1. 教科書は必ず買うこと。
2. この科目を履修する者は日本語特論1、2、3を同時に履修できない。

【担当教員】

加納 満

【教員室または連絡先】

物質・材料 経営情報1号棟3階305

【授業目的及び達成目標】

日本の科学技術に関する文章を読み、科学技術の背景となる日本人の考え方について理解を深める。

【授業キーワード】

科学技術、思考方法、発表能力、文章能力

【授業内容及び授業方法】

毎回担当者は、担当した科学技術に関する文章についてその内容と背景について発表を行い、討論を行う。

【授業項目】

第1週 授業概要 担当課題
第2～15週 担当者発表、討論

【教科書】

授業時に資料を配布。

【成績の評価方法と評価項目】

課題提出物に基づいて評価する。

【留意事項】

この科目を履修する者は日本語特論1から3を履修できない。

【担当教員】

加納 満

【教員室または連絡先】

物質・材料 経営情報1号棟3階、(内)9802
3rd Floor, Management & Information Systems Science Building, ext.9802

【授業目的及び達成目標】

上級レベルの発表能力の養成を図る。

- 1) 日本の政治・社会・経済・文化に関する話題や日本と外国に関わる様々な問題に関して理解を深める。
- 2) 客観的分析力・論理的思考力、日本語による発表能力と文章作成能力の養成を行う。

【授業キーワード】

発表能力、分析能力、文章作成能力

【授業内容及び授業方法】

- ・各授業において新聞記事や書籍を資料に取り上げる。
- ・その資料をグループで読み込み、討論を行う。
- ・グループごとに発表を行う。
- ・レポートを作成し提出する。

【授業項目】

第1週 ガイダンス
第2週～15週 課題に関して討論、発表、レポート作成

【教科書】

資料を配布する。

【参考書】

なし。

【成績の評価方法と評価項目】

口頭発表と提出物に基づき、評価する。

【担当教員】

永野 建二郎

【教員室または連絡先】

物質・材料 経営情報棟310 0258-47-9808

Email:knaga@vos.nagaokaut.ac.jp

【授業目的及び達成目標】

歴史、地理、政治経済、時事問題、スポーツ、習慣、言語表現などを通して日本について学ぶ。様々なジャンルのことから題材にして、関連語彙・表現の拡充を図るとともに、プレゼンテーション能力、ディスカッション能力、および分析能力を養う。また文献等から情報を引用した場合の取り扱いについても学ぶ。

【授業キーワード】

語彙・表現の拡充、情報収集、引用、プレゼンテーション、ディスカッション

【授業内容及び授業方法】

第1回目～第6回目は、上述の話題で講義を行う。第7回目～第15回目は、出席者がテーマを決めて発表し、それについて学生間での議論、教師による解説を行う。第2回目以降は前回学習した語彙や表現についての確認テストを行う。

【授業項目】

- 1 授業計画について。イントロダクション。
「～について」「～についての」と「～に関して」「～に関する」
引用について
トピック(1)
- 2-6 トピック(2)-(6)
- 7-15 学生による発表、ディスカッション

<参考>過去に扱ったトピック

- ・薬害訴訟 ・日本における原発事故 ・日本の人権政策とマイノリティ
- ・捕鯨問題 ・日本のODA ・日本の農業と自給率 ・日本で発明された製品
- ・日本の国技「相撲」 ・祭り装束 ・能と狂言 ・納豆 ・寿司の歴史 ・ラーメン
- ・郷土料理「のっぺい汁」 ・錦鯉の養殖(新潟県小千谷市) ・長岡花火大会
- ・太鼓演奏集団「鼓動」 ・小国和紙 ・新潟方言と京都のことば ・若者の言葉
- ・正月 ・結婚式 ・忍者と忍術 ・「ヤクザ」 ・沖縄 ・関東と関西

【教科書】

授業時に資料を配付する。

【参考書】

授業時に指定する。

【成績の評価方法と評価項目】

小テスト(毎回実施) 20%
発表 30%
期末試験 50%
期末試験の内容に関しては、初回授業で説明する。